

## 会派 創生 繁昌 誠吾 議員

## 1 都市計画について

## (1) 都市計画税の見直しについて

- ① 令和5年12月定例会における一般質問において、都市計画税の見直しについて取り上げた。その際、受益関係に着目した場合、税の公平性が確保されていると答弁された。しかし、都市計画事業の恩恵や受益は課税区域内であっても必ずしも平等に受けられるわけではないと考えるが、市は、今後の都市計画事業において、課税区域内の全ての住民が平等に恩恵や受益を受けられると考えているのか、見解を示されたい。
- ② 昨年9月、市は都市計画税の見直し案を発表した。その中で、課税区域を用途地域及び公共下水道整備区域のいずれかに属する区域に縮減するとの方針が示された。また、中心市街地の起債償還が終了し、今後は下水道事業の起債償還が都市計画税の主な活用になるとの答弁があった。しかし、現状、下水道区域以外の市民には都市計画税の受益や恩恵があるとは思えない。市は、下水道区域以外の市民に対して、どのように受益や恩恵を提供していく考えか、見解を示されたい。

## (2) 都市計画道路文化線について

- ① 12月定例会において都市計画道路文化線の事業費が15億円を超えることが示された。この事業費は今後のインフラの維持修繕等の実施に影響を与える可能性があるのではないかと危惧している。市長は、この大きな事業費が今後のインフラの維持・修繕に影響を与えないと考えているのか、見解を示されたい。
- ② 都市計画道路文化線の終点部交差点は変則6差路になり、交差点から大浦方向は歩道も非常に狭い。道路整備後、交通量の増加を考えると歩行者や車両事故の発生が懸念されるが、安全対策等、全体計画を検討されているか、見解を示されたい。
- ③ 都市計画道路文化線の整備は、文化ゾーンに大きな影響を与える。中央公民館の機能移転、老朽化が進む文化会館や図書館の在り方は、重要な課題だと考えるが、公共施設の集約化等、文化ゾーンの今後の方針と施設の現状・課題について見解を示されたい。

## 2 観光振興について

### (1) 広域観光について

本市が中心となり、大隅4市5町が出資したおおすみ観光未来会議が設立され5年が経過した。新型コロナの5類移行後は大隅地域をはじめ県内の各市町が独自の観光振興策を打ち出している。来年度も会議への負担金支出が予定されているが、市長任期の残り2年間を考えると、大隅4市5町が負担金を出し続けることに対する懸念も存在する。おおすみ観光未来会議に対して求める成果をどう考えているか、見解を示されたい。

## 3 アクアゾーンくしらについて

### (1) アクアゾーンくしらは、大隅半島随一のレジャープールとして長年市民に親しまれてきた。しかし、数年前から営業を停止しており、市民からは再開を望む声が多く寄せられている。

アクアゾーンくしらは、営業停止期間が長いため、機械や塗装等の劣化も懸念される。また、施設の老朽化も進んでいる可能性があるが、市長は、アクアゾーンくしらの再開・復旧に向けてどのような計画を立てているのか。今後の方針・計画を示されたい。

## 4 空き家対策について

### (1) 本市には、多くの空き家が点在している。中には、朽ち果てて危険な状態になっている建物もあり、住民から不安の声が寄せられている。空き家問題は、本市だけでなく全国的な課題であり、早急な対策が必要だと考える。建物を取り壊せば固定資産税の土地の住宅軽減が適用されなくなるため、そのままにしている方もいると思われる。市長は空き家対策を今後どのように推進していく考えか、見解を示されたい。

## 5 農業政策について

### (1) 圃場の災害対応について

昨年3月の代表質問において、災害後の農地の災害対応等について質問したが、未だに対応できていない圃場があり、耕作者から不満の声が寄せられている。行政の災害時の対応・処理の現状と、残された課題について示されたい。

(2) 圃場の湿田対策について

市内圃場における湿田箇所について農業機械が浸かる等耕作に支障が出ており、耕作者や地権者から不満の声が多数寄せられている。市として何らかの対応が必要だと考えるが、現状と課題について見解を示されたい。